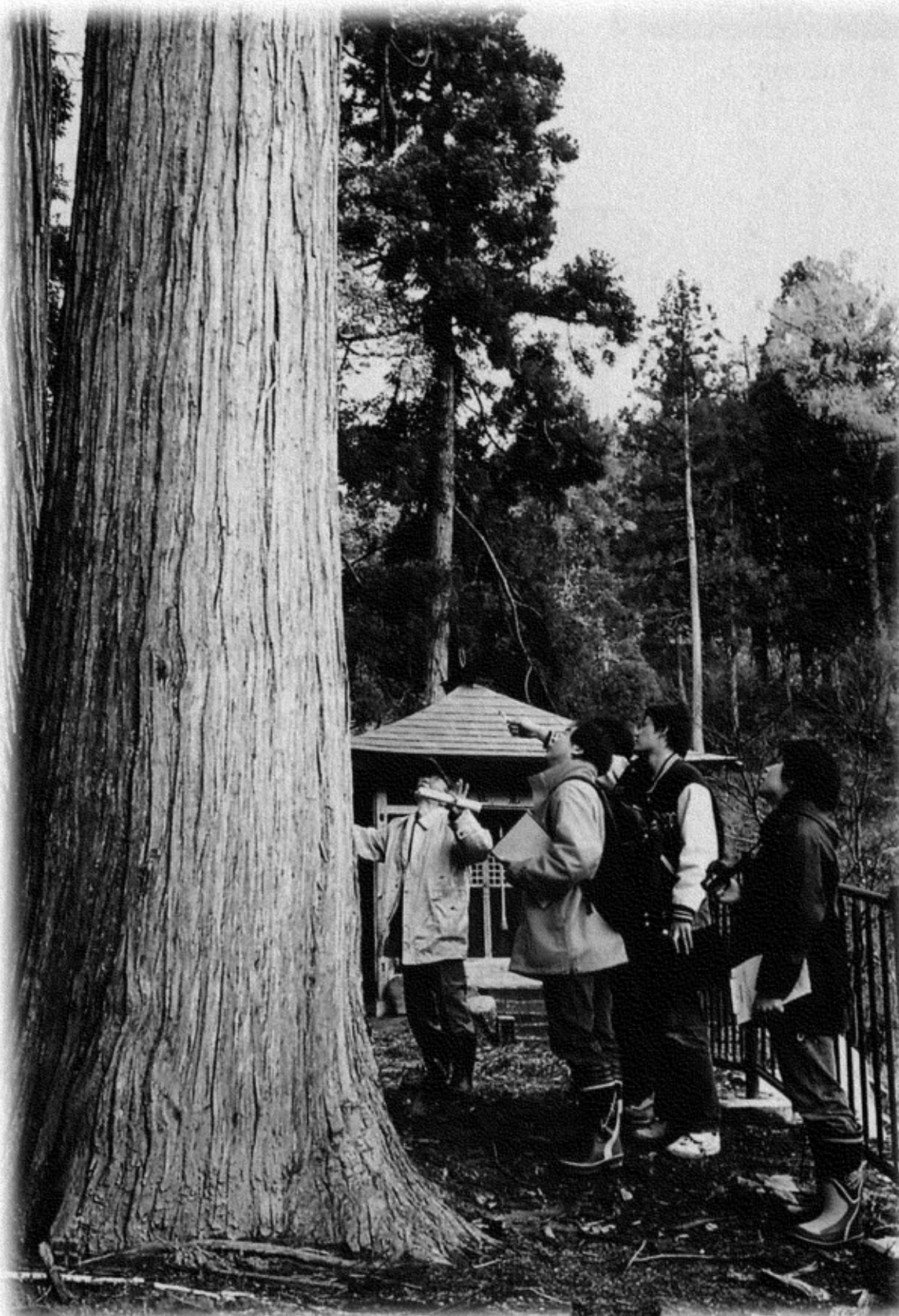


かわぐち

2006. 12月号 No.398

今月の主な内容

- 町政功労者を表彰など..... 2
 - 岡村町長と語る「普段着トーク」各地で開催など... 3
 - これからの応急仮設住宅..... 4
 - 東川口震災復興委員会、部会活動を再開... 5
 - 2006かわぐち振り返ろう この一年... 6
 - 安心の子育て特別保育など..... 7
 - 除雪作業にご協力ください..... 8
- ほか



集落再生に向けて地域の魅力を再発見

荒谷探検ウォーク

11月23日、荒谷地区主催による荒谷探検ウォークが行われました。

これは荒谷地区が集落の復興や地域づくりに向けた取組の第一歩として集落内を歩き「宝もの」や「将来残したいもの」など地域の魅力を再発見しようといわれたものです。

当日は地区住民や県内外の学生など約40人が参加、3つのコースに分かれて集落内を歩きました。

神社方面を歩くコースでは地区住民が二荒神社の石段や鳥居を自力復旧したことなどを説明、また同神社前の巨木で「昔は縄をかけてブランコに遊んでいたんだよ」という熱心な語りに参加者は一応に驚き、枝に残る縄の跡に興味深く見上げていました。

人口のうごき

18. 11. 16現在 * ()内は前回からの増減

男	2,580人	(-13)
女	2,806人	(-12)
人口計	5,386人	(-25)
世帯数	1,534世帯	(-5)



元気です!かわぐちっこ

112

山崎 望天 ちゃん (相川3・3歳)

おとうさん 哲一さん
おかあさん 美佳さん



大好きなお父さんといっしょの望天くん

ウルトラマンが大好きな望天くん、お兄ちゃんといっしょにウルトラマンごっこをして遊んでいます。お父さんにウルトラマンや怪獣の人形で遊んでもらうことを楽しみにしています。外でお兄ちゃんと自転車に乗ったり、公園のスベリ台で遊ぶときは大喜びです。怪獣のモノマネは迫力満点な望天くんでした。

俳句 (12月) 大内迪子先生選

特選句 (町長賞)	暗闇にひらりと舞ひし花の塵	三年	古田 鳥子
特選句 (教育長賞)	雪をかき我を忘れて雪合戦	二年	星野 見
特選句 (教育長賞)	田んぼは道一緒に帰る赤とんぼ	三年	関口 夏希
特選句 (教育長賞)	落ち栗を拾ひ笑顔の帰り道	二年	中林 潔
特選句 (教育長賞)	入選句	二年	佐藤 信
特選句 (教育長賞)	激震地人無き里にちろろ鳴く	二年	森山 菊
特選句 (教育長賞)	釣れてあはれ釣れねばさびし漁日和	二年	星野 好
特選句 (教育長賞)	抽斗に子の横文字の種袋	二年	丸山 智
特選句 (教育長賞)	シャボン玉笑って吹いてくづれたる	二年	星野 節
特選句 (教育長賞)	後光射す月の窓辺にみて至福	二年	目黒 良
特選句 (教育長賞)	秋風や一人住居に鍵をかけた	二年	鈴木 和
特選句 (教育長賞)	ひたむきの幼に涙運動会	二年	岡村 佐
特選句 (教育長賞)	刈田原始発電車の行きにけり	二年	山田 登
特選句 (教育長賞)	山畑に赤のまま咲く地あり	二年	渡辺 京
特選句 (教育長賞)	稲刈りで留守にしてます秋彼岸	二年	喜多村 久
特選句 (教育長賞)	村こひし恋しとちろろ暗きにけり	二年	山田 七
特選句 (教育長賞)	鈴虫の声のみ耳に残りけり	二年	真田 昭
特選句 (教育長賞)	どんぐりのポケットに色褪せし	二年	中沢 一
特選句 (教育長賞)	刈田には案山子斜めに色褪せし	二年	石坂 シゲ
特選句 (教育長賞)	露草の夕日と共に眠りけり	二年	上村 たつお
特選句 (教育長賞)	露草の夕日と共に眠りけり	二年	

■次会のお知らせ
12月7日(木) 生涯学習センター 13時から

町の発展に貢献

町政功労者を表彰

11月3日、平成18年度町政功労者表彰式が行われました。町褒賞条例に基づく、町政功労者表彰は、長年町の政治、経済、文化、福祉などの各分野で町の発展に大きく貢献された方、他の模範となる方、並びに町行政に積極的に協力された個人、団体を表彰するもので、今年は生越千里さん（川口1）が表彰されました。

交通安全の保持に貢献

生越千里さん

(川口1・71歳)



昭和42年、初代交通安全指導員として就任し、昭和51年から町交通安全協会理事を兼任。長きにわたり、町民の交通安全意識の高揚と交通事故の防止など、交通安全の保持に多大な貢献をしました。現在も町交通指導員兼町交通安全協会理事として町の交通指導に尽力されています。

▲町政功労者表彰式（11月3日役場にて）



川口町の合併について意思を問う住民投票条例

「川口町条例制定請求者署名」の証明を終了

10月30日、川口町条例（川口町の合併について意思を問う住民投票条例）制定請求代表者の喜多村泰夫氏及び佐藤伸広氏から町選挙管理委員会に対し川口町条例制定請求者署名の証明申請がありました。署名の証明とは、署名の効力について有効か無効かを審査することです。審査は、10月31日から11月17日まで行い、署名の証明を終了しました。証明結果は、（表1）のとおりです。

署名の証明結果（表1）

有権者数	4,469人
署名総数	2,280人
有効署名数	2,248人
無効署名数	32人

11月18日から24日まで役場にて署名簿を縦覧に供し、同期間にて異議申出を受け付けましたが、異議申出がありませんでしたので審査結果が確定、11月29日署名簿を制定請求代表者に返付しました。

今後の流れ

○返付されてから請求代表者は、5日以内に町へ条例制定請求をすることができます。○町は請求を受理したら、20日以内に意見を附して議会に付議することになります。

問い合わせ 総務課

☎89-3111



▲請求代表者が署名簿を提出

岡村町長と語る「普段着トーク」 各地区で開催

岡村町長と車座での語り合い

岡村町長と車座になって語り合う「普段着トーク」が11月9日の荒谷集会所を皮切りに開催されています。

この普段着トークは岡村町長が就任して約1年経ち、災害復旧、行財政改革、合併とさまざまな課題が山積している中で、住民の皆さんとこれらの課題をどっぴらに話

し合おうと計画されたものです。

初日の荒谷集会所には住民17人が参加。はじめに岡村町長から町の財政状況や合併に関する話、これからのまちづくりについて、現状や将来展望を話した後、意見交換が行われました。

参加住民から熱心な意見が出た

意見交換では、町の財政がなぜこのようになったのか、財政の現状や今後の見通しについての質問のほか、着丘の杜公園施設の運営状況や地震後の復旧状況などについて多くの質問がありました。

また、合併についても、合併後の住民サービスに関する不安や今後の見通しなどについて活発な意見交換がありました。

岡村町長からは、現在の財政状況を踏まえ、身の丈（歳



11月19日長坂地区（和南津集会所）

各地区で開催

入）に合った行政運営をしていかなければならないことや、合併についても、合併しても地域がまとまって元気をだしていくことが地域の活性化につながることを説明しました。

各地区での意見や要望をまとめてお知らせします

各地区で出された意見や要望は今後、広報かわぐちなどでお知らせし、質問やご意見などの詳細な資料についても、積極的に情報を提供していきます。

12月下旬までに全集落37会場で普段着トークを行う予定です。その際に各地区ごとにチラシを配布しお知らせしますので、多数の皆さんからのご参加をお待ちしています。

問い合わせ 総務課

☎89-3111

町営よしみ住宅の 入居を開始

昨年11月から建て替え工事を進めていた町営よしみ住宅が完成し、11月20日から順次入居を開始しました。

高齢者などに配慮した構造に

旧町営よしみ住宅は震災により被害を受けたため、昨年10月に取り壊し、翌11月から建設工事を進め

ていました。

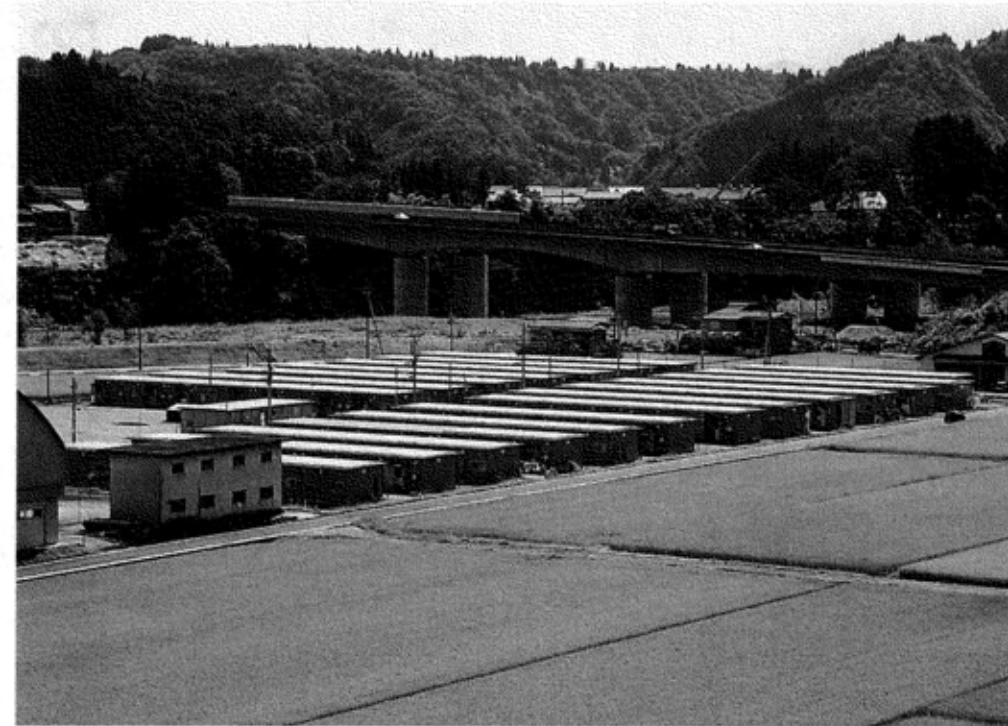
構造は鉄筋コンクリート3階建て、3LDKが4戸、2DKが12戸合わせて16戸の部屋が配置されています。

高齢者や障害者などに配慮してエレベーターやスロープを設置、バリアフリーにしています。また室内には外に火事などの危険を知らせるブザーが設置されており、ひとり暮らしの方の防災・防犯にも配慮されています。



「これから」の応急仮設住宅

応急仮設住宅の使用期限である2年が近づいています。特別な理由がある場合に限り、使用期限の延長が認められました。町では入居者が1日でも早く仮設住宅から退去され生活再建がかなうように支援していきます。



川口中学校応急仮設住宅

特別な理由により 使用期限の延長

応急仮設住宅は、仮設物であり使用期限は2年（場所により期限は異なりますが、今年12月11日が最終の使用期限）と定められています。11月29日現在の応急仮設住宅入居世帯数は111世帯（表1）です。使用期限の延長が必要と見込まれる入居世帯は、86世帯で、ピーク時の入居世帯数358世帯の約24%となっています。国は応急仮設住宅入居者の実情を考慮し、入居予定の公営住宅や再建住宅の未完成情况など特別な理由がある場合に限り、1年を超えない範囲内で使用期限の延長を認めました。

仮設住宅建築場所の早期復旧 などに向け入居世帯を集約

町では、これから冬季間の管理や早期の仮設住宅建築場所の復旧を目指し、入居延長世帯のご理解を得て、9箇所

ある応急仮設住宅を川口中学校の一部と川口小学校、田麦山保育園の3箇所に集約することとし、空き住宅を順次解体しています。

鍵の返還は速やかに お願いします

仮設住宅から退去された場合は、できるだけ速やかに鍵の返還をお願いします。なお、返還される場合は各種の届出が必要となりますので、印鑑を持参のうえ役場農村振興課までお願いします。

☎ 89-3113
農村振興課

応急仮設住宅の入居者数及び世帯数 (表1)

(平成18年11月29日現在)

応急仮設住宅名	入居世帯数(世帯)	入居者数(人)
和南津農村公園	3 (23)	19 (81)
上河原	2 (16)	8 (60)
泉水小学校	7 (61)	21 (224)
川口小学校	9 (18)	12 (27)
川口中学校	69 (124)	179 (398)
田麦山小学校	4 (37)	13 (155)
田麦山保育園	5 (11)	20 (46)
岡平	12 (63)	52 (265)
木沢第2	0 (4)	0 (7)
木沢円柳寺	0 (1)	0 (3)
計	111 (358)	324(1,266)

※「入居世帯数欄」及び「入居者数欄」の()内数値は、ピーク時の入居世帯数。



仮設住宅の解体作業 (泉水小学校仮設住宅)

東川口震災復興委員会、部会活動を再開

東川口震災復興委員会では、9月29日に震災復興委員会を開催し、4つの部会での復興に向けた検討が再開されました。各部会の検討内容についてお知らせします。

拠点施設形成部会

駅前通り周辺の活性化の仕組みや方策について検討を開始し、11月25日には十日町市「昭和町通り」で視察研修を行いました。

この「昭和町通り」は融雪舗道が整備され、街路樹や花いっぱい運動などが実施されており、国土交通省大臣表彰も受賞しています。当日は住



生活道路部会

民組織「街づくり検討委員会」の指導者の方から昭和町通りのまちづくりへの取組や融雪舗道と克雪街路整備についての説明を受けました。これからの拠点施設形成部会や各部会での活動に参考となる視察となりました。

安全・安心な暮らし、生活の利便性、災害・緊急時の安全性確保に向けた、道路整備のあり方や事業方針決定の検討を行うため、今年度は委員会提案にかかる新規路線の「調査シート」の作成を始めた。

克雪等対策部会

安全・安心な暮らしの確保、災害時の安全性確保のための流雪溝網の整備や大平沢



川流域について検討を行うため、今年度は東川口全体の流雪溝網について事務局構想(案)をもとに検討を行っています。

住環境形成部会

住環境形成部会では、防災・防犯など住みよい住環境の形成に向けた検討を始め、昨年度調査した防犯灯については、修繕箇所を精査し町会に提言を行うこととしています。また、今後は地震の体験を通して必要と思われる備品などについて検討を行う予定です。

ライフラインの災害復旧工事が完了間近

震災により被害を受けた水道・下水道・ガス施設は予定していた復旧工事が完了しました。

水道施設は、水源の枯渇や詰りなどを解消し、浄水設備や配水池の補修及び建築をしてもう少しで安定給水が行えるようになります。

下水道施設は、道路復旧工事などの調整で一部遅れていた部分も復旧工事が完了しました。



▲ガス管の復旧工事

可能となりました。

復旧工事によりご迷惑やご不便をお掛けしました。ご協力ありがとうございました。なお、旧水道施設の取壊し工事は来年度以降を予定しています。

問い合わせ 建設企業課
☎ 89-4417



▲新たに完成した中央簡易水道第4配水池 (相川)

2006 かわぐち 振り返るう この一年

2006年は2年続きの豪雪にはじまり、復旧、復興が進む中、町の財政難、市町村合併問題と当町は大きな岐路を迎えた1年となりました。この1年を振り返ってみましょう。

1月
1月4日：賀詞交換会（生涯学習センターにて）
1月6日：川口町雪害対策本部を設置
1月11日：豪雪被害により災害救助法が適用される



▲2年続きの豪雪に

2月
2月6日：木沢地区で今年の最高積雪深37.8cmを観測
2月11日：雪洞火はたる祭を縮少し、各地区で雪灯り回廊などを作成、また役場前で復興キャンドル点灯&ライブを開催
2月20日：こころの健康づくり講演会を開催
2月27日：第1次庁内行政改革検討委員会を設置
3月
3月1日：「広報かわぐち」で町財政の危機的状況をお知らせ
3月23日：蒼丘の杜公園体育館の復旧工事に着手
4月
4月1日：町の人件費削減のため条例・規則を改正し、実施新たに政策管理監を設置

5月
5月8日：町内一斉クリーン大作戦
6月
6月1日：町職員接遇評価を実施
6月2日：21日：避難マニユアル作成のため、各地区を巡回訪問
6月14日：西川口り災者公営住宅の建設工事に着手
6月18日：町民グラウンドゴルフ大会
6月23日：滞在型宿泊施設の復旧工事に着手
7月
7月20日：第五次総合計画審議会を設置
7月29日：川口まつり



▲川口まつり花火大会「エビセンタ（震災）」

8月
8月1日：10日：市町村合併説明会
8月4日：6日：狛江市と川口町の子どもたちが「ふるさと自然塾」で交流
8月11日：25日：「市町村合併に関する町民意向調査」を実施
8月14日：成人の集い

8月25日：「市町村合併に関する町民意向調査」の集計
8月27日：町消防団の総合演習
9月
9月1日：和南津、相川、田麦山地区り災者公営住宅で入居開始
9月12日：岡村町長、長寿者を訪問
9月15日：貝ノ沢地区り災者公営住宅で入居開始
9月1日：和南津、相川、田麦山地区り災者公営住宅で入居開始



▲市町村合併説明会

10月
10月8日：和南津地区で町防災訓練
10月9日：町民ふれあいデー スポーツフェスティバル グラウンドゴルフ大会
10月14日：15日：かわぐち体験防災キャンプ「キッズ・トラ



▲入居が始まったり災者公営住宅

10月15日：かわぐち体験防災キャンプ「イザ！カエルキャラバンinかわぐち」
10月16日：東川口り災者公営住宅建設工事に着手
10月23日：震災2周年、17時56分に全町で黙祷
10月29日：11月5日：秋まつり（10月29日、秋まつり・11月3日、芸能発表会・11月3日、5日、作品展示）
10月30日：条例制定請求代表者が町選挙管理委員会に署名簿を提出
11月
11月3日：町政功労者表彰式
11月9日：岡村町長と車中で語り合う「普段着トーク」を実施
11月13日：第2次庁内行政改革検討委員会を設置
11月20日：町営よしとみ団地の入居開始



▲町民ふれあいデー

安心な子育て特別保育

町保育園では、通常保育のほかに、仕事や社会活動などをしていく方のため、次のような保育を行っています。

延長保育

保護者の就労の都合などで、保育時間の延長を希望することがあります。
早朝は7時30分から8時30分まで、通常保育後は16時から19時まで行っています。

一時保育

保護者の就労や傷病、入院、看護など、緊急一時的に家庭で保育ができない時に利用できます。対象者は川口町に住む満1歳から就学前までの幼児で、お預かりできる期間は月に14日以内です。保育料は1日につき1200円です。

3歳未満児保育

3歳未満の乳幼児（生後6カ月以上含む）を対象に東川口保育園で行っています。保護者による送迎が必要です。年度途中に入園を希望する場合も1月からの入園申込みの手続きを行ってください。※人数に限りがあり、受入れできない場合もあります。問い合わせ
東川口保育園 ☎89-2028
西川口保育園 ☎89-3696
福祉保健課 ☎89-4419

町立保育園 平成19年度入園申し込みを受け付けます

受付期間 平成19年1月5日(金)から1月19日(金)まで
※現在入園している園児の保護者の方には、改めてご連絡します。

入園対象者 小学校就学前の平成18年10月1日までに生まれた乳幼児
入園先保育園 住所地に関わらず、定員の範囲内で希望する保育園に入園することができます。ただし希望に添えない場合もありますので、事前にご相談ください。

申込方法 入園申込書に必要書類を添えて入園を希望する保育園に提出してください。入園申込書は、各保育園に用意してあります。詳しくは各保育園などにお問い合わせください。

問い合わせ 東川口保育園 ☎89-2028
西川口保育園 ☎89-3696
福祉保健課 ☎89-4419



楽しい食事 家族や仲間と一緒に食べる

「食」で健やかな心と体を育む

保育園っーしん

現在「食育」は、「知育」「徳育」「体育」の基礎として注目されています。毎日の食事は、体の成長や体への影響だけでなく、「心」にも大きく影響します。楽しく食事をし子ども「心」を育んでいきましょう。

食育とは

子どもたち一人ひとりが食べることの意味を理解し、自立的に食を営む力を育むことです。

心と育ちの食事5カ条

- 1 からだで感じる
生活のリズムの基本は、3度の食事です。食べ過ぎ、食べ不足は、子どもに悪影響を及ぼします。毎日おしくいただく食事を通して食べ物の働きを知り、いろいろな食品をバランスよく食べることの大切さを理解しましょう。
- 2 みんなでいっしょに
楽しい食事 家族や仲間と一緒に食べる

感謝の食事

野菜や生きものの育ちを知ること自然の恵みや命の大切さを感じ、つくる人や食べものへの感謝の気持ちが育ちます。「いただきます」「ごちそうさま」を大切にしましょう。

みんなで楽しむ

幼いころから料理づくりやお手伝いを体験することで、食への楽しさや役立つことの喜びがわかるようになります。子どもが喜んで参加できるように楽しい環境づくりを心がけましょう。

伝える食事

地域には長年培われてきた食文化があります。食と地域のつながりに関心をもち、未来へ食文化を伝えましょう。

降雪期を迎え、

除雪作業にご協力ください

町では安全な生活と道路確保のため、除雪体制を整えています。効率的で安全な除排雪を行うために、皆さんの理解とご協力をお願いします。

除雪作業をスムーズに行うためにご協力を

除雪作業がスムーズに進むように次のことにご協力ください。

○除雪車に近寄らないで
作業中の除雪車は、バックを余儀なくされることが多くあります。除雪車の後ろはと



ても危険です。除雪現場を通るときは、作業員などの指示に従って通行してください。

○路上駐車はやめて

路上駐車があると除雪作業の妨げになり、通勤・通学の時間までに除雪が終わらないことがあります。また、雪に埋もれた自動車と、除雪車が接触することもあります。路上駐車はしないようにお願いします。

○屋根雪は道路に落さないで

道路上に雪を捨てることは禁止されています。しかし、異常降雪のため、やむを得ず雪を下ろしたときは、速やかに片づけましょう。また、雪を下ろすときは、関係機関と協議してください。



○重要物件には赤旗を立てて
道路沿いの物件は、除雪作業中に破損する恐れがあります。雪に隠れてもわかるように、重要な物件には、竿に赤い旗をつけるなど、目印をしましょう。

○流雪溝の使用はルールを守って

流雪溝は各地区でルールを守って計画的に使用し、スノーダンプを使う場合は細かく砕いて入れましょう。作業終了後はおもてのふたを完全に閉め、中網は取り外さないで、そのまま使用しましょう。また、小型ロータリーなどで直接投雪することは危険ですのでしないでください。

除雪についてお願い

○道路の災害復旧を進めておられますが、道路状況が良くない場所があり、除雪作業の遅れが予測されます。皆さんからのご協力をお願いします。

○道路の交通を確保するため、道路沿いの土地への堆雪について、ご理解とご協力をお願いします。

除雪作業は降雪10センチから

町では、降雪量がおおむね10cm以上の場合に道路の除雪作業を行います。効率的に進めるため、次の区分で除雪を行い、冬期間の交通確保のため万全を期す計画です。

- 車道除雪
 - ▽第1種除雪路線
早朝、日中とも一車線の幅員を確保し、常時交通を確保する路線
 - ▽第2種除雪路線
大雪の場合や異常降雪時には、早朝除雪の中止又は一時的に交通不能になってもやむを得ない路線
 - ▽春先除雪路線
降雪期を過ぎた春先に除雪する路線
- 歩道除雪
一部について通勤、通学時間までに除雪を行う。

除雪に関するお問い合わせは

- 町道
役場建設企業課
☎ 89-3114
- 防雪サブセンター
☎ 89-3711
- 県道
小千谷維持管理事務所
(維持管理課)
☎ 83-0855
- 川口除雪ステーション
☎ 89-2052
- 国道
国土交通省
長岡国道事務所
小出維持出張所
☎ 025-792-0839

降雪期の備え

ガス、水道のメンテナンスもこまめに

●ガス

降雪により、ガスメーターなどに異状が発生することがあります。次のことに注意してください。

ガスメーター

ガスメーター付近の雪下ろしや落雪に注意してください。

・ガスメーターに雪が強く当たると、振動でガスが止まる場合があります。

・ガスメーターは、立上がり管の保護及び検針ができるように除雪をお願いします。

排気筒・吸排気口

風呂や給湯器などの排気や吸気を点検してください。
・排気筒の詰まり、はずれ又は雪に埋もれていないか確認してください。

・吸気口は雪などでふさがっていないか確認してください。雪により埋められると給湯器が作動しなくなります。

●水道

冬期は凍結や積雪による漏水事故が多くなります。次のことに気が付いたら建設企業課までご連絡ください。

水を使わないのに、蛇口などから水が流れる音がする。

・いつもより水圧が低い。
・水を使わないのに、水道メーターが回っている。

・家の周りで水気のないところから水が出ている。

※降雪により、水道メーターが検針できない場合は推定使用料金を徴収します。あらかじめ、ご了承下さい。

問い合わせ 建設企業課

☎ 89-4417

全国で一般的なガスに

ガスの種類を「13A」に変更するための作業を進めており、この変更作業中は井戸元で熱量を調整した調整ガス(12・13Aの間)を供給しています。

平成19年1月25日から熱量13Aに調整したガスの供給を開始します。その後新ガスの検取のため町職員及び関係会社社員が、ガスをご利用の家庭や事業所などを訪問します。

ので、ご協力をお願いします。なお、身分証を携帯していただきますので、不審の際は提示を求めています。

熱量変更のQ&A

Q なぜ13Aガスへの熱量変更が必要なのでしょうか
A 将来にわたり安全供給と効率よく使用いただくためです。現在、全国で都市ガスを使用している90%以上が13Aを利用しています。引越しの

都市ガスの種類を変更します

平成19年1月25日から全国で使用している一般的なガスの種類「13A(43・95メガジュール)」に変更します。



際も器具の買い替えの必要がなくなります。

Q ガス料金は変わりますか。

A 熱量の上昇に比例して単価が上がります。しかし、熱量が増えた分、使用量が減りますので、使用する総熱量が変わらない場合は料金も変わりません。なお、新しい料金は2月使用分(3月支払い分)から適用する予定です。(新料金一覧表は2月頃お配りします。)

問い合わせ 建設企業課
☎ 89-4417

北朝鮮人権侵害問題

啓発週間

12月10日～16日

12月10日から16日まで「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」です。これは今年6月に「拉致問題その他北朝鮮当局による人権侵害への対処に関する法律」が施行され、国民の間に広く拉致問題等の人権侵害問題についての関心と認識を深めることを目的に定められたものです。
拉致は許されない犯罪行為であり、一刻も早い被害者の救済が求められます。皆さんも、この機会に拉致問題の重大性を再認識しましょう。



水道を使用していないのにこの銀玉が回っていると漏水しています。

第9回 元気溢れる写真大舞台 フォトコンテスト入賞作品決定

人々の生き生きとした姿、生活感溢れる作品を募集した「第9回川口町フォトコンテスト」。元気な町民の姿など154点に及ぶ応募があり、審査員の山田昌男さん（日本写真家協会会員）と岡村町長による厳正な審査の結果、最優秀賞は小野里透さん（燕市）の「ベスト・フレンド」に決定しました。入賞者及び入賞作品を紹介します。

※作品の講評は、山田昌男さんによるものです。



最優秀賞「ベスト・フレンド」小野里透さん(燕市)



コンテスト審査の様子



優秀賞「花火大会」

神尾彰さん(山形県)

講評：多重撮影の花火。ワイドレンズの使用で風景的にとらえた所が評価できます。画面のグラデーションが絶妙です。



町長賞「ちびっこソーラン」広川信俊さん(長岡市)

講評：元気いっぱいな表情、それにカラーバランスの良さ、作者は構図を良く考え、子どもの動きを待ってすばらしいシャッターチャンスを見事にとらえた力作です。



特別賞「女みこし」

田中日登志さん(三条市)

講評：魚眼レンズの選択で独創的な構図になった所が評価されます。被写体に近寄って遠近感を強調された作者の力量をたたえます。

フォトコンテスト入賞者紹介 (敬称略)

- ▼最優秀賞
「ベスト・フレンド」
小野里透(燕市)
- ▼町長賞
「ちびっこソーラン」
広川信俊(長岡市)
- ▼優秀賞
「花火大会」
神尾彰(山形県)
- 「鎮火」小林勝次(長岡市)
- ▼特別賞「女みこし」
田中日登志(三条市)
- ▼富士フィルム賞
「錦鯉の里」
植木元(柏崎市)
- ▼フジカラー賞
「初霜の朝」
相田保(三条市)
- ▼新潟日報社賞
「届けこの感謝の気持ち」
覚張敏夫(長坂)
- ▼入選(順不同)
「さっそうと」
小林利男(十日町市)
- 「復興へ向かって進行中」
堀澤昇司(川口1)
- 「笑顔」風間正也(長岡市)
- 「光彩」外山和子(魚沼市)
- 「若武者」
桜井信夫(魚沼市)
- 「みんな笑顔」
木内久美子(千葉県)
- 「そーれー」
早川昭雄(長岡市)
- 「ハイ・ポーズ」
仲淳(小千谷市)
- 「夜明け前」
桜井博之(魚沼市)
- 「女みこし」
佐藤千秋(川口2)



表彰式(11月27日・役場にて)

川口町フォトコンテスト作品展を

開催します

12月6日から12月24日まで

第9回川口町フォトコンテストの入賞作品及び応募作品を展示します。力作ぞろいの写真をぜひご覧ください。
期日 12月6日(水)～12月24日(日)
(ただし火曜日は休館日)
時間 9時～17時
会場 交流体験館「杜のかたらい」
問い合わせ 企画商工課
☎ 89-3112



一票の大切さを伝えたい

ハタチ 20歳の皆さんにパーステーカーを送ります

20歳になり、12月2日に選挙人名簿に登録された方に向け、選挙啓発のために「川口町明るい選挙推進協議会」からパーステーカーと選挙チラシを送ります。今年度からの試みで、登録要件により20歳になる方でも届かない場合があります。この場合には次回の登録日に要件を満たした方を対象に送付しますのでご了承ください。

なお、登録は3、6、9、12月の2日に登録要件を満たした方が対象となります。

今回の対象者

12月2日時点で川口町選挙人名簿登録されており、20歳になられる方



フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」を実施

「いのちの電話」は、様々な悩みに苦しむ方からの電話を24時間体制で受け付け、相談にあたっています。次の期間中「フリーダイヤル」による電話相談を実施します。

期間 12月7日(木) 24時まで

電話番号

フリーダイヤル
0120-738-556

(通常、相談者負担の電話料が、フリーダイヤルにより上記期間中は無料です)





岡村町長の感謝の言葉

11月12日、ふるさと友好都市東京都狛江市で開催された「狛江市市民まつり」に岡村町長が訪問し、震災以来温かいご支援をいただいた同市及び市民に感謝の気持ちを述べました。また町物産展を出店し、復興にがんばっている姿をアピール、市民との交流を深めました。

まつり会場では川口の物産展を開催し、町の農産物や農産物加工品、笹だんご、酒などを販売、町の物産品をPRしました。また今回は川口やな場も出店し「鮎の塩焼き」を販売、市民の皆さんは「と

町特産品開発委員会、狛江市市民まつりを視察

現在進めている特産品開発委員会の活動に役立てようと、同委員など6人が狛江市市民まつりで、他県から出展している特産品などを視察しました。また狛江市の地域センターの皆さんと懇談会を行いました。

この懇談会では、当町に対するイメージや農産物、加工品、町に望むことなど貴重な意見を聞きました。委員たち



狛江市民との懇談会

感謝の気持ちを伝え、交流を深める

狛江市「市民まつり」に参加



大好評だった鮎の塩焼き

でも美味しい」と大変な好評でした。

懇談会での意見の一部を紹介します

- 川口町のイメージは、交流により、漬物や野菜がおいしいことを知った。また米や温泉など都会にないものがある。
- 川口町の野菜や加工品について
- ・狛江市では加工したものが少ない。昔のなつかしい味(ずいきの酢漬けなど)が欲しい。
- ・あんぼは、情報が出ていないためなじみがない。若者に知ってもらうためにも情報が必要

は今回の視察をこれからの取り組みに活かしていきたいと話していました。

2006 秋まつり

収穫、文化、芸術の秋を楽しむ

10月29日 おまつり広場



▲よさこい



▲農産物販売



▲防火パレード



◀野菜釣り



▲もちつき大会

秋の祭典「2006秋まつり」が10月29日～11月5日の期間中、生涯学習センターを会場に行われました。

10月29日、生涯学習センター付近のおまつり広場は野菜釣りやもちつき大会、農産物の販売など、たくさんの出店に大勢の人たちで賑わいました。また町内のよさこいグループ3組がそれぞれ華麗な踊りを披露、来場者も一緒に踊り秋の一日を楽しんでいました。

11月3日には、芸能発表会が行われ、町内の各団体の皆さんが歌や踊り、劇など日頃から練習を重ねた成果を披露しました。また絵画、書画など300点を超える作品が展示され、来場者は芸能、文化の秋を満喫していました。

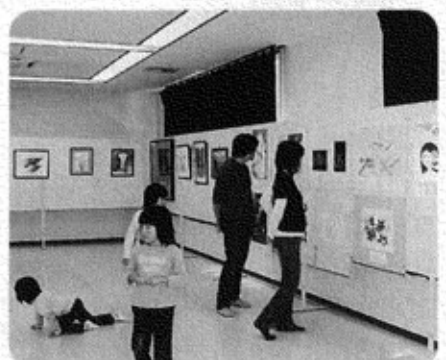
11月3日 芸能発表会



牛ヶ島地区 (武田節)



小高子供棒踊り



作品展示 (11月3日～11月5日)

川口町と神戸市との絆のおにぎり

神戸市民に大好評

神戸市で行われた障害者スポーツ大会「のじぎく兵庫大会」で、川口産魚沼コシヒカリで作ったおにぎりが振舞われました。

今年5月、震災以来に多くの支援をいただいた神戸市に当町からお礼として川口産魚沼コシヒカリ2俵を寄贈しました。神戸市はこの米を広く神戸市民に知ってもらおうと同大会の無料飲食コーナーで「新潟・川



おもてなしコーナー (写真提供:神戸市社会福祉協議会)



おにぎりづくり (写真提供:神戸市社会福祉協議会)

「町との絆のおにぎり」として来場者に提供しました。

同市のボランティアが握ったおにぎりは配布前から長蛇の列ができるほどの好評で、来場者は本場コシヒカリの味に舌鼓を打っていました。

なぜよう生涯学習

「かわぐち学びの里大学」の活動紹介

「福祉の町づくりセミナー」花でつめようふるさと道

「福祉の町づくりセミナー」は、福祉と道をテーマに活動しています。

6月11日、80人が参加し、「杜のかたらい」前のシンボルロードに花の苗を植えました。また、各地域に戻ってそれぞれが道路を花で飾りました。



「杜のかたらい」前のシンボルロードに花の苗植え



長野県飯山市を視察

8月20日には、32人が参加し長野県飯山市の花ロードを見学しました。この花ロードは、千曲川沿道を中心に花が10*続く道路で、市内小中学校、高校、事業所など、48団体が参加して製作し、飯山市のまちづくりの原点になっています。

この視察で参加者は「花がやっぱり飾られた町では、心の安らぎに満ちた通りや緑側のある街並みなどができるのだと実感しました。」と語っていました。

ウルトラかわぐち子供クラブ クラフトクラブ

小・中学生を対象に、様々なジャンルの材料を使用し、工作などを行っています。

10月21日に行われたクラフトクラブでは、「木の実はハロウィン」に挑戦しました。この作品はひょうたんにハロウィンの顔を描き、木の実にぎやかに、飾りつけたものです。作品を作成している子どもたちの表情は、とても生き活きしています。

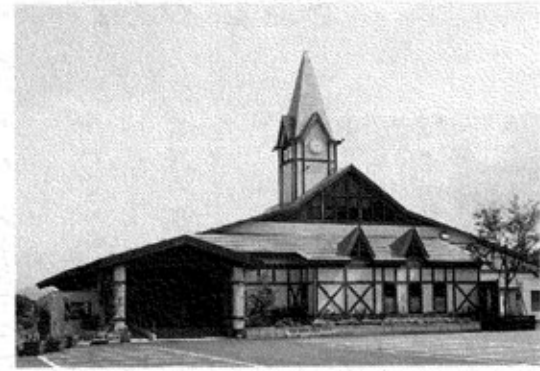
今後もクラフトクラブを計画していますので、皆さんもぜひ参加してください。



クラフトクラブ

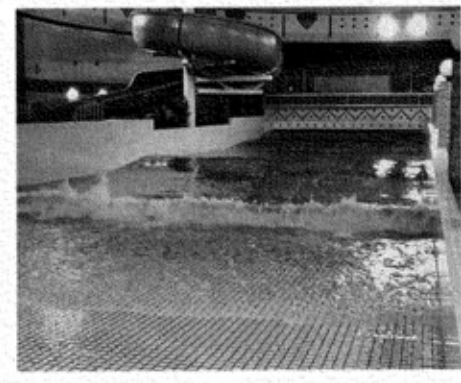
「杜のかたらい」の休館と「温水プール」の営業休止のお知らせ

1月1日から当分の間、交流体験館「杜のかたらい」を休館します。生涯学習活動などを行う方は生涯学習センターをご利用ください。また



温泉施設のうち「温水プール」も同じく1月1日から当分の間、営業を休止します。

問い合わせ 教育委員会
☎ 89-2119



賀詞交歓会を中止します

毎年、町主催により開催しておりました賀詞交歓会は、都合により中止します。

問い合わせ 総務課
☎ 89-3111

長野県豪雨災害救援の県民募金へのご協力ありがとうございました

長野県豪雨災害の支援のために行った県民募金には、総額で600万円を超える募金が集まりました。

この集まったお金は11月9日、全額を長野県にお渡ししました。多くの皆様からご協力をいただきありがとうございます。

地域ぐるみの学校安全講演会を開催

テーマ「家庭・学校・地域が果たす役割」

近年、学校や通学路で子どもたちが被害者となる事件が多発しています。このため、家庭・学校・地域の連携を深め通学路の安全確保をより一層図るため、「地域ぐるみの学校安全講演会」を開催します。ぜひご参加ください。

日時 12月9日(土) 13時30分～
会場 生涯学習センター
講師 小千谷警察署 生活安全課長

問い合わせ 教育委員会
☎ 89-2119



芸術の秋、巡回ミュージアムで県内出身芸術家などの作品を鑑賞

11月1日、川口中学校において「新潟県立近代美術館、万代島美術館所蔵巡回ミュージアム」が開催されました。これは、新潟県立近代美術館、新潟県教育委員会の主催により、広く美術鑑賞の機会を提供するために毎年県内の市町村を巡回し開催されているものです。

当日は日本や世界の美術を代表する作家、新潟県出身の芸術家による絵画、彫刻など合わせて22点が展示されました。一般の来館者をはじめ、小、中学生も鑑賞し、学芸員の説明を熱心に聴いていました。



第2回 川口地域ジュニアバレーボール大会

川口ジュニアチームが3位入賞

11月12日、川口中学校体育館で魚沼市及び川口町の小学生11チーム180名が参加し、ジュニアバレーボール大会が開催されました。

川口ジュニアチームは守門チームを破り、一回戦を勝ち進み、見事3位入賞を果たしました。



町議会からのお知らせ

12月定例会が、次のとおり開催されますので、ぜひ傍聴においでください。

会期 12月7日(木)～12月20日(水)
会場 役場 3階議場

※議場内の傍聴席は、先着20名ですのでご了承ください。

月日	開議時間	内容	場所
12月7日(木)	午前9時(本会議)	町長の行政報告、議案説明及び審議(条例の一部改正、補正予算等)	役場 3階議場
12月8日(金)	午前9時(総務厚生委員会)	議案審査等(所管事務調査)	役場 3階第2会議室
12月11日(月)	午前9時(産業建設委員会)	議案審査等(所管事務調査)	役場 3階第2会議室
12月20日(水)	午前9時(本会議)	一般質問、追加議案、発議案等	役場 3階議場

町議会事務局 ☎ 89-2106

訂正とお詫び

広報11月号に2箇所の記事がありました。

○6ページの左下「災害復旧費」の内訳部分に落丁がありました。正しい記載は、次のとおりです。

・社会教育施設(生涯学習センター、町民文化会館、中山倉庫) 2,802万円

○12ページの左下「相談支援専用の電話回線を設置」の「☎89-4819」は「FAX89-4819」の誤りです。訂正してお詫びいたします。

地区のわだい

震災から2年新大祭で新米おにぎり無料配布

グループファーム武道窪

武道窪の農事組合法人「グループファーム武道窪」のメンバーが、11月3日新潟大学で行われた新大祭に参加し、震災でお世話になった大学や市民の皆さんに、震災後初めて収穫した新米で作ったおにぎりを無料で配布しました。

19人で構成されています。昨年は農地などの復旧が終わらず、作付けできませんでしたが、今年は、新潟大学農学部から土質調査や発育の指導を受け、11畝のうち7畝が作付され、約33トンの収穫ができました。

そこで、今までの支援に対し感謝の気持ちを伝えたいと新大祭に参加、新米35kg分のおにぎり約600個を学生たちと一緒に握り、農学部の玄関前で配布したものです。



当日は学生や家族連れなどが大勢詰め掛け、用意したおにぎりは約2時間でなくなり、大好評のうちに終了しました。

美味しいそばに舌鼓

和南津そばまつり

11月26日、和南津集会所においてそばのオーナー制による交流体験事業「和南津八郎場蕎麦(そば)楽校」の収穫祭「和南津そばまつり」が行われました。

これは、和南津そばの郷(代表小林敏明さん)が震災からの復興と地域の活性化を目指し、震災当時からさまざまな支援をいただいている、災害ボランティア「オーロとちぎ」と一緒に企画、昨年から実施しているものです。

今年も栃木県内を中心にオーナーを募集し13人が応募、8月の種まきから9月の花見、10月下旬のそばの収穫を経て今回そばまつりが行われました。



当日は、栃木県から子どもを含む22人が参加、和南津地区の皆さんも多数訪れ、応援に駆けつけた宇都宮市の「下野そばの会」メンバーの指導によるそば打ち体験や打ち立ての新そばの試食などを楽しみました。

そば打ちに挑戦した宇都宮市の矢古宇栄次さんは「作業工程が多く大変でした。特に練る所と延ばす所が難しかったです。初めてにしてはうまくできました。」と約1時間をかけ打った感想を話していました。また、主催した和南津そばの郷代表小林敏明さんは「集落の皆さんも多数参加いただき、良い交流ができました。来年もこの事業をぜひ続けて行きたい。」と来年に向けた抱負を語っていました。

木沢・峠宝ものマップが完成!

フレンドシップ木沢

木沢地区の魅力は町内外へ発信し、これからの交流事業に活かしたいとフレンドシップ木沢(代表阿部義夫さん)で制作を進めてきた「木沢・峠いところりマップ」がこのほど完成しました。

このマップは、7月に行われた木沢探検ウォークや今までの資料などから見つかった地域の魅力などをまとめたもので、二子山遊歩道や木沢焼窯場、ビューポイントなどが写真やイラスト入りで掲載されているほか、そば打ちやわら

細工、木沢焼などの体験メニューも掲載されています。

完成したマップをフレンドシップ木沢では、地区内全戸に配布するとともに、町内の主要施設にも置いてもらうことにしています。また、今まで支援をいただいたボランティアの皆さんへも配布することになっています。

会長の阿部義夫さんは「このマップにより地域の魅力を自分たちで再確認するとともに、地区外にも発信し、木沢に多くの皆さん



完成した木沢・峠いところりMAP

から訪れてもらえるきっかけになれば」と話していました。

元気モリモリ

コンロひとつでアイデア料理

いとこ煮



いとこ煮の謂れはいろいろあるようですが、田んぼで取れるれんこんと畑で取れるあずきとでいとこ煮との説もあるようです。

れんこんでなく、かぼちゃで作る場合もあります。精進料理の一品。

●材料(4人分)

- れんこん.....200g
- さとう.....大さじ1
- 水.....適量
- ゆであずき缶詰.....1缶

●作り方

- ①れんこんは小さ目の乱切りにして酢水にさらす。
 - ②れんこんを水で洗い、さとうを加えたお湯で煮る。
 - ③れんこんが柔らかくなったら水気をきりゆであずきと和える。
- ※れんこんを購入するときの見分け方は、太くふくらみ、淡いだいだい色をしてつやがあり、外皮に傷がないものを選びます。

「コンロひとつでアイデア料理」は食生活改善推進委員が紹介しています



右から
涌井 智子 (前 原) ☎89-3803
小見智恵子 (大 形) ☎89-4023

